




GWは多くの方々にご来園いただきありがとうございました  
 夏期は10月23日まで開園いたします

# ASAHIYAMA ZOO

発行所  
 動物資料展示館  
 旭川市  
 旭山動物園  
 ☎ 36-1104

双眼鏡をのぞいてみると...  
 どっちが上手にたべられる??  
 うーん  
 なかなか難しい!!



**サル山**はいつでももぐもぐタイムのよう。それにはワケがあるんです。飼育係特製のマシーンからは一定の時間を過ぎると木の実などの餌が自動的にチップの海に落ちる仕掛けになっていて、それを探すサルたちは必死!この他にもまだまだ仕掛けがありますよ。

4月29日から夏期開園となり、初日は風の冷たい日にもかかわらず7千人の人が来園し、GWはたくさんの人でにぎわいました。もぐもぐタイムも始まり、みどころ満載です。さて、来園されたみなさんは各飼育舎のなかにさまざまな工夫が凝らしてあるのにお気づきでしたか? その一部をご紹介しますよ。

10・23まで休まず開園します!!

正門入口にはホッキョクグマのモニュメントが完成しました!




ワンポイントガイドは 毎週日曜日

このサイの角は...  
 おっきいなあ  
 すごい!

飼育係が直接案内します

6月 5日	ホッキョクグマ
12日	北海道産動物
19日	フラミンゴ
26日	エゾシカ


いずれも11:00からです。  
 もぐもぐタイムは毎日実施中ですが、天候・動物の体調によって変更になる場合があります。園内の掲示板にてご確認ください。

5 / 10 ~ 16 は 野鳥週間

4月にオオワシのヒナがふ化しました。旭山動物園では初めてのこと。オオワシは国の天然記念物に指定されている、希少な鳥です。

最初は親鳥がヒナに餌をやらなく、心配されましたが、最近ではオス・メスそろって子育てに精をつくしているようで、一安心。もう間もなく巣からひよっこ顔をだすヒナに会えるかもしれせんよ。

一方、交通事故で片羽を失ったカラスを東門近くで展示していたのにお気づきの方はいましたか? 日常生活の中で犠牲になっている動物を見るのはあまりない機会。ご覧になった方には、きつと何か感じとっていただけたのではないかと思います。

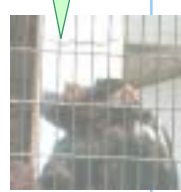
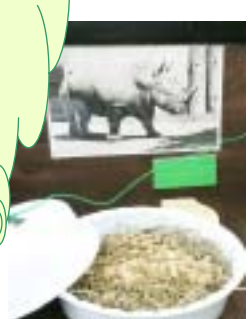


ん?これは...

大きな音が聞こえてくる。振り返るとサルアパートの住人(住猿?)たちが檻がきしむほどに、動き回っています。その元気のウラには飼育係のヨミが見え隠れ...。新たに鏡が設置された飼育舎でのチンパンジーたちの動きにも注目!

わあ!草のにおい

総合動物舎では、ペリカンとマルミミゾウの共同飼育が行われているほか、迫力の食事が見られるシロサイのノシオの飼育舎の前では餌に実際に触れることができます。フタをあけてみてさわってみて下さい。

ぬいえ 送付先

今年ぬいえは8月上旬オープン予定のくもざる・かびばら館の主役たちです。新施設は現在工事中ですが、今でも動物たちを見ることが出来ます。のびのびとしたクモザル・カピバラを描いてください。

ぬいえは幼児を対象に各門で配布しております。6月30日までに送付された全作品を8月中、ファンタジー休憩所にて展示いたします。

ご応募おまちしております。

送付先  
 〒078-8205 旭川市東旭川町倉沼  
 旭山動物園  
 ぬいえ係 宛

